複写 NEWS

No.258　平成 27 年 5 月 1 日発行

TABLE OF CONTENTS

2013 年度・2014 年度総括　・・・・・・・・・・3
第 52 期通常総会・懇親会のご案内・・・・5
日本複写産業協同組合連合会祝創立 30 周年 ・・・ 5
D.D.S.S.経営革新研究会開催・・・・・・・・・・・7
D.D.S.S.ﾋﾞｼﾞﾈｽ･ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ研究会第 1 回ｾﾐﾅｰ開催・・・・8
読者参加フォトページ “新幹線開通に湧く北陸”・・ 9
ＪＰ2015 情報印刷産業展・・・・・・・・・・・13
大阪印刷工業組合 60 周年式典・祝賀会開催・・・13
IT Solution Forum 2015 in 大阪・・・・・・・・ 14
色彩計測(物体色)ｾﾐﾅｰ開催・・・・・・・・・・14
ほっと一息 “柏餅”(蓬)・・・・・・・・・・・・・ 15
組合日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

2013 年度･2014 年度

総括

平素は近畿複写産業協同組合事業に御協力と御支援を賜り心から感謝を申し上げます。

2013 年度･2014 年度事業の参加者数

行事名		参加者人数	
		2013 年度	2014 年度
総会懇親会		157 50 周年	84
教育事業	コニカミノルタセミナー	18	—
	リコー若手社員	10	12
	FX･BSC セミナー	9	10
	キヤノンセミナー	15	19
ボーリング大会		136	132
次世代研修会	納涼情報交換会	22	23
	年末情報交換会	24	27
ゴルフコンペ		46	49
新年互礼会		84	84

右表のとおり、組合諸事業に毎年平均して 400 名様以上の御参加をいただきました。なお両年の参加者合計の差異は 2013 年度の 50 周年記念式典の参加者とセミナー事業が日程的な問題でひとつ減少したことによります。

会員相互の懇親を中心とした事業は毎年賑わいを見せました。また当組合の最重要事業の一つである教育事業も昨年以上の高いレベルで実施でき、受講対象者の幅を拡大しました。

そのなかにおいて、もう一つの組合最重要事業である「次世代研修会」が微増に推移しました。組合存在の意義・目的から評価すると、未来の光芒も幽かながらではあるが、しかしはっきりとした成果があったといえます。本表には記していませんが、これらの事業に並行して、2014 年度後半には中央会の御支援により、経営コンサルタントの指導のもと「組合ビジョン・中期計画策定事業」も 3 回実施されました。ベテラン、中堅理事、若手経営者によって組合の過去・現在が多面的に議論され、組合の将来の足がかりを得るための議論を行いました。このような事業は単発では効果は生まれません。継続的に実施してこそ組合価値が向上し、若い人たちの参加により組合そのものの理解が深まります。この繰り返しによって業界文化は新たな息吹を得て、次世代へと継承されていくものと考えています。まだ緒に就いたばかりですが大いに楽しみな事業です。

さて以上のようにこの 2 年を概観しました。組合員様、賛助会員様の御協力のおかげをもって総じて順調に推移しました。そこで期の変わり目に再度、組合の仕事・役割を簡単に整理しておきます。

組合の基本的な役割は、組合員相互の信頼をつくり、賛助会員様との連携を通じて業界を発展させることにあります。しかし現状の業界を取り巻く環境は改めて言うまでもなく「激変時代」です。この時代認識のもと組合は活動をしなければなりません。

それは、新しい時代を恐れるばかりでなく、怯む心を将来の可能性に向ける次世代事業の仮設提示です。ICT の凄まじい進化とその中にいる複写業界の危機。しかしその中にも新たな希望が多くあります。その実現の仮説を提示することができるのが業界団体である協同組合であり、それを実行しなければならないことが協同組合の仕事であり役割です。

そして次世代事業として「POD サービス」を有望な仮説として提示しています。

次に仮説実現の方法論とその実施です。地域の協同組合にあっては組合員への経営・技術・営業など多面的教育が主です。昨年実施した「BSC 研修」は経営戦略そのものを科学的に構築する技法を学ぶものでした。しかしここまでは現役世代である私たちが生き残る算段です。中小企業の多くはその子弟によって会社と事業が継承されてきました。その灯をつながなければその会社で働く従業員の方々が難渋

します。企業の第一の目的は「利益の追求でなく継続である」とドラッカー先生は言っています。事業を継続するためにはより多くの顧客が必要です。また特定業種に絞らずにあらゆる層を顧客にすることが求められます。

現在の組合活動は、次代により良い形で継承したいということも大きな目的です。次代を見据えるから、いまの課題が見えて解決のエネルギーを発します。刹那的思考からは課題も見えず将来戦略を描くことも不可能です。次代を見ること、すなわちそれは今の私たちを見つめることに他なりません。

現世代と次世代、それらが相互に往還する組織は未来に生き残ることができると確信します。

歴史を振り返ると、社会構成体は確立期、発展期、停滞期、崩壊期とあります。大きくは政治の体制であり、身近には産業があります。協同組合は産業のなかにおける社会構成体です。人間においても同じことがいえます。人間と社会構成体と根本的に異なるのは寿命があることです。人は自ずと寿命により世を去ります。しかし役割を果たした組織を無理に延命させること、すなわち寿命を延ばすことは不可能ではありません。だがそれを行うことは、組織の目的を離れ組織維持が目的化します。これは避けるべきです。

近畿複写産業協同組合の 2 年の活動を振り返ると、まだまだ組織の意義はあるように理事長として感じています。とはいえど、従来型事業における発展期でないことは自明です。たぶん複写業界ということでは崩壊期にあるといっても間違いないでしょう。このままでは業界は崩壊し消滅するという意味です。しかし元気な長寿企業の例を見るまでもなく、停滞期を上手に乗り越えた企業、企業群は多く存在します。

その多くが何らかの形で、このままでは潰れるというタイミング、すなわち停滞期中期から後期にかけて事業革新をしてその命脈を保ちました。複写業界で考えると、1990 年から 2000 年にかけての時期でしょう。この期間はまさしくデジタル革命が喧伝されている時でした。いまや懐かしい言葉です。それほどにこの「第 4 次情報革命」は短期間で社会に根付きました。崩壊期に入れば業界活動は現状のような賑わいを見せません。しかしながら停滞期後期の時期を甘く評価し、もう少し停滞期を延長したとしても 2016 年までです。業界で言う「1603 問題」の時です。ジアゾ事業終焉の時が甘く評価しても停滞期の期限です。この日に備えるために近畿複写産業協同組合や日本複写産業協同組合連合会は業界革新・事業革新を提唱し、具体的な事業を地域と全国において展開してきました。今後は個々の企業においてその真価が問われます。

企業が次世代に生き残る方法が変革・革新を意味するイノベーションです。イノベーションとは「新しい知」によって、「新しい事業」を起こし、「新しい顧客」を創造することです。それらは全く不連続に発生するものでなく、わたしたちの歴史や文化の延長線上にあるものです。組合は複写連と共に次代事業として POD サービスを仮説提示しました。組合の存在意義は、業界の長い歴史と実力に立脚して、できるだけ多くの仲間に負担が少ない方法論を提示し、組合の多面的事業によりその実現の補佐をすることです。イノベーションの在り方・方向性と実現の方法を提示・共有・実行し、仲間とともに新しい時代を切り拓くことに組合の存在意義があります。またそれは組合員様と賛助会員様の御支援なくしてはあり得ないものです。

2013 年度・2014 年度、近畿複写産業協同組合への御支援・御協力に理事・事務局を代表して心より御礼を申しあげます。まことに有難うございました。引き続きさらなる御指導・御鞭撻をお願いいたしまして第二期終了の御報告とさせていただきます。

近畿複写産業協同組合
代表理事　楠本雅一

「第 52 期通常総会・懇親会」のご案内

平成 27 年 6 月 3 日（水）ラグナヴェールプレミアにて「第 52 期通常総会・懇親会」を開催致します。

お陰様で第 52 期も滞りなく終えることができました。役員・事務局一同感謝申し上げます。

そこで第 52 期の事業報告及び第 53 期の事業計画を組合員様皆様でご審議頂きご承認をお願いしたいと存じます。

また、今年は役員改選の年です。選任を併せてお願い致します。

ご欠席の組合員様には委任状にて議決権を委任されますか、書面にて意見を行使頂くかどちらかをお願いしたいと思います。

組合員様１人で４人の組合員様の委任を受任できます。（議長はお受けできません。また理事長も同様に４人迄受任可能です。）

総会後には懇親会を行います。ぜひご参加頂きまして、情報交換や次世代の方々の御紹介の場としてご交流下さい。詳しい事は本日同封の案内状をご覧ください。皆様のご出席をよろしくお願い申し上げます。

日　時　平成 27 年 6 月 3 日(水)
午後 4 時より午後 5 時「総会」
午後 6 時より午後 8 時「懇親会」

場　所　ラグナヴェール　プレミア
大阪市北区梅田 3-1-3
ノースゲートビルディング 28F

日本複写産業協同組合連合会祝創立 30 周年

日本複写産業協同組合連合会（略称＝複写連）は、平成 27 年 4 月 1 日（5 月 10 日登記上）を以って創立 30 周年を迎えます。

現在の複写連ルーツは昭和 33 年夏、名古屋と大阪の青写真組合の有志が榊原温泉の懇談で始まった「全日本青写真工業連合会」がのちの複写連へとつながっています。

当時の創立記念パーティには衆参国会議員、通産省、中小企業庁、全国中小企業団体中央会、中小企業事業団、都中小企業団体中央会、全国中小企業共済財団、中小企業事業分野確保協議会、日本軽印刷工業会、全国マイクロ写真業連合会、

日本感光紙工業会等から多数の来賓が参加されたそうです。当時の複写連の業績が偲ばれます。

現在の複写連は組合員数 8 協同組合 175 社複写連パートナーズ 17 社そして賛助会員 17 社特別賛助会員 3 社（2014.9 現在）で形成されています。

事務局を東京都港区芝公園 1-7-8 に構え 13 名の役員と 1 人の事務局職員でささえられています。

昨年は複写連東海大会を名古屋にて開催し約 190 人が集いました。

次年度(平成 28 年度)には複写連近畿大会を近畿複写産業協同組合がホスト役で開催予定です。その折には是非この近畿に大勢の方のご参集をお願いしたいと思います。

平成 27 年 4 月 21 日　D.D.S.S.経営革新研究会開催

「モスバーガーのブランド戦略」　講師：株式会社モスフードサービス　特別顧問　田村茂氏

＜モスの理念・・・社会貢献・人間貢献＞

モスの由来

M　ountain 山のように気高く堂々と

O　cean　　海のように深い心で

S　un　　太陽のように燃え尽きることのない
　　情熱をもって

考え、姿勢は・・・

・感謝される仕事をしよう

・食を通じて人を幸せにすること

創業者はアメリカで味わったうまいハンバーガーを日本で売りたいという思いから八百屋の倉庫の一角に証券会社退職金を開業資金 800 万に充てた。(内商品開発費に 600 万を充てる。ここに創業者の生き方が伺える)

＜事業創造の知恵＞

日本のマーケット：路地裏に繁盛店あり（家賃安い保証金 0 に等しい）

商品：和風ハンバーガー（お母さんが作ってくれるハンバーグをイメージしたパテ）

脱マニュアル：心の琴線に触れるサービス

FVC：フランチャイズボランタリチェーン（自由度が高いが理念に共鳴する人とだけ契約する。キッチンは標準化するが店作りは自由にできる）

＜モスバーガーが大切にしていること＞

理念・使命は変えてはならない　3 つの哲学 1.経営哲学（ミッションからはずれない）
　　2.経営価値判断基準（善悪で物事を判断する）
　　3.経営姿勢（不屈の精神、諦めずにやる）

商品のこだわり＝結果の差別化になる　「商品（味）の妙づくり」お客様の満足を求めて強みをさらに強くする。

時代を求める商品を作り出す。　1980 年代はコメ余りの時代。

Ex.ライスバーガー余剰素材に付加価値を付ける。茶わんで食べたいコメをファーストフードへ

＜モスが迎えた危機＞

1989～1997 年バブルの崩壊・デフレ加速　認知度や知名度が購買力に比例しない実態　1995 年売上下降開始　創業者の急逝

＜モスの変革＞ライフステージ・ライフスタイルの変化を知る。
強みを強くする。　定番を磨く
脱 FF（ジャンクフードとみられないよう）
安心安全。何が売りなのか、セグメントする。　ブランドは人の心から染み出る物。＝生きがいと思える人と一緒に仕事する。
コストの負担者は誰なのかを理解する。＝お客様はコスト負担してもそれ以上に喜びのある買い物をしたい。
お客様は今　気持ちよく過ごせる行きつけの店を探している。
そこで、朝７時オープン夜中閉店（シニア層利用）。モスでは高齢者が大切な戦略。

＜「食」への取り組み＞
農薬や化学肥料を極力使用しない全国 3300 軒協力農家から野菜調達。（農業後継者の育成を推進）
商品ごとにアレルギー情報や栄養成分・原産地情報をレシートに印字サービス。ISO2000 取得
2005 年より「モスバーガー食育プログラム」スタートほか学校、キッザニア東京出展
終わりにまとめとして
1. 人生は出会い「縁心力」であるといえる。
2. （一番取り組むべきこととして）お役に立つ人を育てることだ
3. マンネリは成長を阻害する（仕事の奥を見詰め楽しむ）
4. お客様を集める⇒お客様が集まる（人間力を高めるのがこれからのマーケティング＝商品ではなく、あなたから買いたい＝固定客になりたいという時代）
5. ホスピタリティ、その真実の一瞬（サービスに終わらず、受任されて取引が成立する、それがホスピタリティ）を求めて行動する。
6. 教育は＝刺激力（モチベーション売上。コミュニケーションによりテンションをモチベーションに如何に変えられるか）
情報を浴びて自分のカテゴリーを多く持ち、できないことができるようになることを与えることがリーダーの役割。出来ない事が出来る様になればモチベーション UP に繋がる。

平成 27 年 5 月 8 日　D.D.S.S.ビジネス･マーケティング研究会第 1 回セミナー開催

日　時：5 月 8 日(金) 16:00～18:00
場　所：富士ゼロックス株式会社 ドキュメントコア・
　　オオサカ 2F セミナールーム
　　大阪市中央区本町 3 丁目 5 番 7 号
テーマ：「タイムスタンプ市場の最新動向と運用事例」
講　師：アマノビジネスソリューションズ㈱
　　営業本部　TBP 事業推進部　後藤敬氏
内　容：

1. 電子文書の信頼性＝ネットワーク経由での情報流通量の増加及び電子化保存情報量の普及に伴い信頼のおける時刻情報を考慮した情報通信基盤の整備が必須。
そこで正確な時刻を配信するサービス　タイムサービス　タイムスタンプサービスが

発生する。

・コンピュータにおける更新日時

・存在証明の必要性

・単なる電子化では証拠性が欠落

2. タイムスタンプの効果＝電子データと時刻情報を結合する事により、

1. その時刻にそのデータが存在した事（存在証明）と

2. その時点から現在に至るまでデータが変更・改ざんされていない事（非改ざん証明）

を第三者的に証明することができる。

3. 法整備＝ｅ-文書法 2005 年 4 月 1 日施行

紙保存⇒電子化⇒電子保存

真実性・可視性の確保⇒文書・帳簿等の管理・保管コストの削減に繋がる。

4. 利用例＝・国税関係帳簿書類（電子帳簿保存・電子契約・電子商取引）

「電子計算機を使用して作成する国税関係帳簿書類の保存方法等の特例に関する法律」（電帳法）により厳しいシステム要件/運用要件が求められる。

電子取引の定義

(1) いわゆるＥＤＩ取引

(2) インターネット等による取引

(3) 電子メールにより取引情報を授受する取引（添付ファイルによる場合を含む）

(4) インターネット上にサイトを設け、当該サイトを通じて取引情報を授受する取引

※最近ではＦＡＸによるデータ受信を電磁的記録で保存する場合も範囲に含まれるという見解

・診療関係記録（改ざん防止・真正性確保）

厚生省ガイドラインでは

(1) 厚生労働省の定める準拠性監査基準を満たす保健医療福祉分野ＰＫＩ認証局もしくは認定特定認証事業者等の発行する電子証明書を用いた電子署名を施す事。

(2) 電子署名を含む文書全体にタイムスタンプを付与すること

(3) タイムスタンプを付与する時点で有効な電子証明書を用いる事

・知的財産保護（特許庁ガイドラインで紹介・先使用権の立証）

・公的機関（官報）

まとめ

＊今後グローバルでの競争が激しさを増し、企業は各社独自の企業理念、行動規程に基づく健全で効率的な企業経営を行う更なる仕組み作りが必須となってくる。

＊内部統制の構築と競争力向上のためには、企業の業務全てに係るプロセスにおいて証跡（経営判断、意思決定、情報の把握、伝達）の確保が重要。

＊そのためには、ＩＴの統制が必要不可欠な要素となり、ＩＴ活用による証跡及びその基となる情報の真正性の確保が要求される。訴訟で民間企業が正当性を主張するにはまた、税務調査時保管書類と認めてもらうためにも必須条件となるでしょう。

タイムスタンプサービスのアプリケーションソフト（e-timing　EVIDENCE3161）は無償ダウンロードもあります。一度ＨＰを覗いてみてください。http://www.e-timing.ne.jp/download/index.html

組合でも議事録や定款にスタンプを使用していきたいと思います。

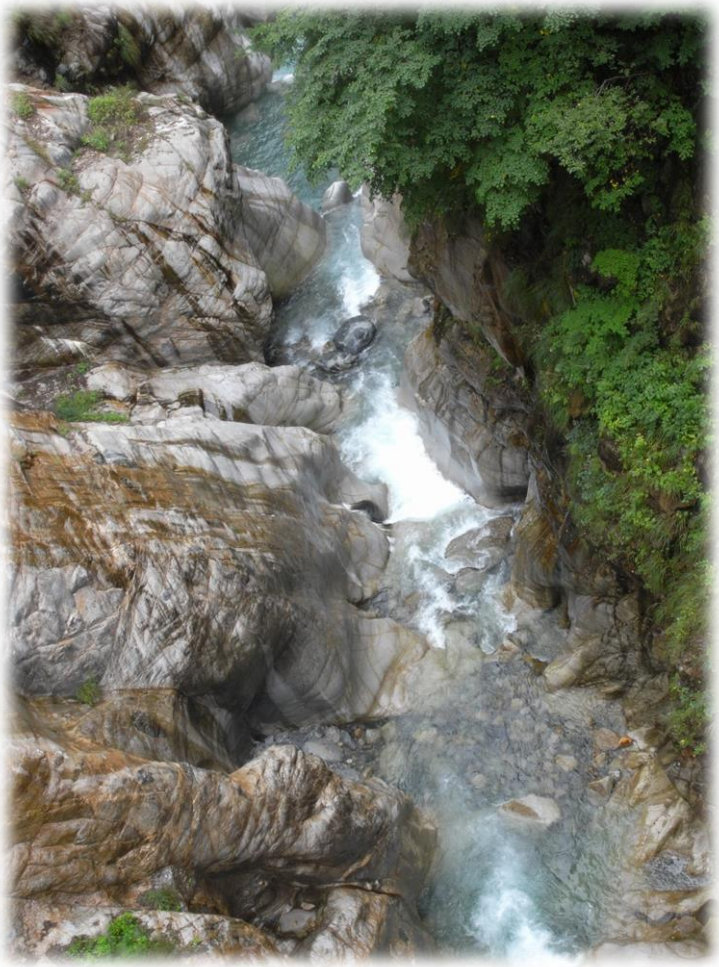
＝読者参加フォトページ＝

皆様のご投稿をお待ちしています。

金沢「ひがし茶屋街」

新幹線開通に湧く北陸　　桑田　靭比古

金沢 21 世紀美術館



黒部渓谷

トロッコ電車

黒部ダム

国内 1 位の高さにあるアーチ式ドーム越流型ダム。。

年間約 10 億 Kwh 発電。

述べ 1000 万人、7 年の歳月にて昭和 38 年完成。

黒部川第4発電所

黒部ダム　　大迫力の放水　毎秒 10 立方メートル

JP2015　情報印刷産業展

ものづくり大阪　生活を彩る印刷技術　新たな感動を添えて。

会期　平成 27 年 5 月 14 日（木）～16 日（土）

会場　インテックス大阪 5 号館

14 日午前 10 時～午後 5 時

15 日午前 9 時 30 分～午後 5 時

16 日午前 9 時 30 分～午後 4 時

最先端の印刷技術を一堂に集める展示商談会で、インテックス大阪にて 3 日間の会期で開催されます。印刷を「ものづくり」の技術ととらえ、パートナーとなる来場企業が抱える多様な課題への対応策を提案します。整版・印刷・製本システム・合理化関連機器、ワークフロー技術、環境関連システム、品質管理システム、コラボレーション企業、産学連携、IT／AR、インターネット利用受発注システム、企画・デザイン、デジタルプリント系ソフト、DM 制作・発送業務機器、販促資材、高付加価値技術と印刷サンプルなどが主な出展対象となっています。会期中にはブース展示の他、専門的なテーマのセミナー開催も予定されています。(http://www.expo-guide.jp/m201505046/抜粋)

出展賛助会員様・関係者名（敬称略）（小間 No.）:

コニカミノルタビジネスソリューションズ㈱（No.5-73）

ダイヤミック㈱（No.5-67）

富士ゼロックス㈱D.D.S.S.（No.5-24）

ムサシ㈱（No.5-37）

リコージャパン㈱（No.5-75）

東京ラミネックス㈱（No.5-42）

富士フィルム㈱（No.5-71）　各ブースには担当の方がおられますので、気軽にお声掛けされて下さい。

大阪印刷工業組合 60 周年式典･祝賀会開催のお知らせ

おかげさまで60周年

大印工の新たなスタート

大阪府印刷工業組合は、昨年創立６０周年を迎えられここに式典・祝賀会を開催されるとのこと誠におめでたいことです。

御組合は、昭和 29 年 7 月に大阪府印刷工業調整組合を設立し、さらに昭和 33 年 7 月に団体の名称を大阪府印刷工業組合として認可され今日に至っておられます。現在御組合員のみならず、中小企業全体においてデフレによる原材料の高騰、人材不足等非常に厳しい状況が続いています。その中でも御組合においては相互扶助の精神の元、現在も 500 強社の仲間と共に中小印刷企業の地位向上、健全なる経営基盤の確立と印刷業界の発展を目指して日々努力を続けられておられることは誠に敬意を表します。

今後もこの記念すべき 60 周年を契機にさらに団結を強め今後とも、より一層の活発な組合活動の元、より飛躍されます事を祈念致したいと思います。

60 周年式典・祝賀会　平成 27 年 5 月 22 日（金）ホテルニューオータニ大阪　　２階「鳳凰の間」

●記念講演　　午後 3 時～　　講師　　川口盛之助 氏（株式会社盛之助 代表取締役）

●記念式典　　午後 4 時 45 分～

●記念祝賀会　　午後 6 時 30 分～

キヤノンＳ＆Ｓ　ＩＴ　Ｓｏｌｕｔｉｏｎ　Ｆｏｒｕｍ2015　ｉｎ大阪開催

キヤノンシステムアンドサポートは企業の抱える【経営課題】を徹底的に解決することを目的として全国で「IT Solution Forum 2015」を開催しています。お客さまが抱えるさまざまな悩みを解決する場として、多種多様なセミナーや展示コーナーをご用意しております。

多くのお客さまのご来場を心よりお待ちしています。

開催日：5 月 19 日（火）20 日（水）　9；30～17：30

主　催：キヤノンシステムアンドサポート㈱

後　援：キヤノンマーケティングジャパン㈱

会　場：キヤノンマーケテイングジャパン㈱大阪支店 17 階

大阪市北区梅田 3-3-10　梅田ダイビル

お申込みは

https://www2.canon-sas.co.jp/public/seminar/view/519 より

ＷＥＢでお願い致します。締切 5 月 15 日（金）18：00 迄

詳しい事はＨＰ

http://www.canon-sas.co.jp/ev/pdf/itsf2015osaka.pdf を

ご覧ください。

コニカミノルタビジネスソリューションズ㈱色彩計測（物体色）セミナー開催

この度ご好評頂いております「色彩計測セミナー」を 2015 年度も各地で開催いたします。

物体色の測色に関する基礎知識から測色計の原理・測定事例・測定時の注意点、新色差式（CIEDE2000）の説明などが主な内容です。デモンストレーションも行います。測色計をご使用頂いている方、これから導入検討の方、色の知識をご習得されたい方、是非お気軽にご参加ください。

主な開催内容

・色の基礎知識

・測色計の原理

・測定時の留意点

・新色差式 CIEDE2000 について

日程（各回同じ内容です。）

関西地区　2015 年 5 月 27 日（水）2015 年 7 月 22 日（水）2015 年 9 月 4 日（金）

13：00～16：30　大阪市西区西本町 2-3-10 コニカミノルタ㈱会議室

京都地区　2015 年 6 月 11 日（木）13：00 ～16：30　京都市南区東九条下殿田町 70 番地

京都府民総合交流プラザ

神戸地区　2015 年 6 月 17 日（水）13：00～16：30　神戸市中央区御幸通 8-1-6 神戸国際会館 701 号会議室

最少催行人数：5 名（参加お申込みが 5 名未満の場合中止になることがあります）

お申込みはコニカミノルタホームページよりＷｅｂにてお願い致します。

http://www.konicaminolta.jp/instruments/event/seminar/object/detail.html

今回のテーマは”新緑を味わう”です。

柏餅（蓬）

材料（8 個分）

1.上新粉　100g

2.白玉粉　100g

3.砂糖　　80g（和三盆・とうきび・三温糖等が好ましいが無ければ上白糖・グラニュー糖でも可）

4.水 280～300cc（砂糖を加えたら柔らかくなるので控えめで）

5.蓬　お好み（生の蓬が無ければ市販の粉末をお好みで）

6.小倉餡　120g～180gお好みの量（粒あんでもこし餡でも可。こし餡に小豆粒を混ぜても可））

7.かしわの葉　8 枚（生の葉でもビニルでも可）

8.蓬を茹でる用の重曹少し。

※粉類が無い場合もち米を蒸してついて餅状にしてもよいです。

作り方　（制作時間約 30 分蓬ペースト作りを除く）

＊よもぎペーストを作っておく。（葉はだけの状態にしてたっぷりの水に重曹を少し入れて　さっと茹でる。それをミキサーやブレンダーでペースト状にする。）

＊餡玉を 8 個作る。

1.粉類と水を耐熱容器に入れかき混ぜてから 600W の電子レンジで3分程加熱する

2.レンジ後ペースト状の蓬をお好みでいれ、まぜてから再度 600W で3分程電子レンジで加熱する。

3.レンジから取出し木べらで混ぜ砂糖を入れ再度混ぜる。

4.3 を 8 等分しその内 1 つ分を手に乗せ楕円形に伸ばし餡玉を乗せ周りから包み込みます。それを柏の葉手前に置き、包む。柏の葉は水けを切って置きます。

完成です。

一般的な白いものは蓬を入れなければできます。今回は新緑を香りや目でも味わって頂くために蓬入りの柏餅にしました。

柏餅ですが団子風に出来上がり、2 日程は固くなりません。

組合日誌

平成 27 年 3 月 18 日第 566 回理事会を開催しました。

1.報告事項（各担当理事）

１－　１　．第 565 回理事会議事録の報告

承認した旨報告されました。

１－　２　．官公需適格組合協議会会議報告

＊他府県に比べ大阪では受発注量は少ない。府や市が発注せず国が発注するので大阪府や市組合員は受注できていない。

＊組合に加盟していない業者が落札するので組合ばなれが起こっている。

＊6 月 26 日に福島県いわき市を訪問し現状視察開催。

＊大阪府協議会ファーラムが 6 月下旬にあべのハルカスで開催。

＊その他の予定は次月協議会出席後理事会にて報告します。

１－　３　．3 月 10 日キヤノン MJ 様来組。

「複写産業に対する今期取り組みに関して」報告

東京より小巻様小野様名古屋より林様ご来組され、今後はキヤノンマーケティングジャパンが組合窓口として一本化するとのことです。

１－　４　．賛助会員　担当者変更について

キヤノンマーケティングジャパン㈱組合担当武内一様に変更します。

２．協議事項（各担当理事）

２－　１　．ダイワ写真㈱退会の件（渡辺様より再度連絡有につき）

担当者より阪田社長の体調思わしくないので以前申し出たとおり 3 月末日で組合退会すると連絡が有りました。

現在残高は、副資材 39960 円組合費 40800 円。預かり出資金価値 40000 円と仮定し相殺すると合計 40760 円の為次回支払日 3/25 に 40760 円お支払いいただくこととします。総会後最終手続きとします。

２－　２　．平成 27 年度事業計画案について

＊事業計画について次年度も共同受注事業は計上します。

＊新年互礼会予定日がリコージャパン㈱行事と重なっているので<u>１月１２日（火）</u>に変更します。

＊収支予算案について資料Ａ～Ｄを根拠に作成しました。
平成 26 年決算数字は未確定ですので参考にご覧ください。

＊収入の部　共同受注・共同購買収入については今年度予想決算数値に基づいて試算しています。福利厚生事業収入について今年度数値に希望的増員を含めた数字にしています。教育事業収入について５０年誌積立金は今年度使用諸費を除いた金額を計上しています。その他セミナーについて、26 年度事業ＢＳＣ研修は２７年度には開催予定がないので加味していません。賦課金・賛助会員会費収入は４月からの予想会員数に応じて試算しています。但し、三洋青工所様は藤田理事が京都こぴい様は楠本理事長が退会について３月末までに再度確認します。

＊支出の部　共同受注・共同購買事業費は今年度予想決算数値に基づいて試算しています。福利厚生事業費は今年度同数の導入を見込んでいます。教育事業費はセミナー実質活動費を見込んでいます。次年度重点をおく予定事業として次世代事業委員会活動用に新たに予算計上しています。一般管理費は人件費において今年度入退職に伴った費用を次年度は削減しています。理事・委員会費及び交際接待費は今年度支出に応じて予算計上しています。日本複写産業協同組合連合会複写連賦課金は４月以降の予想組合員数に応じて試算しています。旅費交通費は次年度重点をおく予定事業（組合員数拡充）として活動用に予算計上しています。

２－　３　・平成 27 年度体制について

＊役員一同、楠本理事長の功績について賞賛しており感謝しております。

＊組合としての今後の課題については現在思案し検討中です。

＊次期体制については再度理事会前会議を４月１６日 14：30 より行い最終議論を行います。

３．２月度会計報告

２月末時点累計額にて昨年より大幅な増減は、理事・委員会費（有馬分含）接待交際費（今年度活発な活動費）地代家賃（昨年度当月払いに変更に付１か月分減）総会費（昨年は 50 周年行事に含）です。

４．その他　　次年度共同受注事業について

水道企業団に対して受注する組合員の名簿を渡し、発注を依頼してきた。今年度は組合では受発注状態を把握できていない。しかしながら組合員であるため受注できるのなら次年度も名簿を作成し受注依頼をしたい。藤田理事が次年度の方法を確認し、名簿提出の場合例年通り４月に入り、受注志願組合員に集まって頂き名簿作成を行います。

平成 27 年 4 月 16 日第 567 回理事会を開催しました。

１－　１　．第 566 回理事会議事録の報告

承認した旨報告されました。

１－　２　．4/10 共同受注委員会会議報告

4/10 に 6 社の組合員様にご参集頂き、昨年に引き続きご協力を頂けます。また、組合単価を相談の上決定しています。本日単価承認された後協力頂く 6 社へ正式に単価表を配布します。

１－　３　．㈲三洋青工所の件

藤田理事が訪問したところ、事業を御兄弟が継承されましたが今後

の事を後継者で話し合った結果脱退したいとのことです。

１－　４　．事務局より報告

＊リコージャパン㈱様行事予定共有の件

資料の様に行事をご連絡頂きました。組合行事予定をお知らせし、共有して頂くようにお願いしました。

＊賛助会員　担当者変更について

リコージャパン㈱古茂田様から加藤様に変更になりました。併せて今後は大阪支社大阪ＢＰ第一営業部内複写営業グループが担当されます。

＊㈱中央写真賦課金変更の件

従業員数、及び営業所数減少の為賦課金額を変更します。３月末迄にご連絡頂いているので平成 27 年度４月分より変更します。賦課金額の年度途中変更は有りませんが年度末までにご連絡頂けたら翌年度より変更します。

＊コニカミノルタセミナー日程の件（7/2）

７／２に開催場所の確保ができましたので日程は決定しました。理事におかれましては御参加頂きます様ご予定をお願い致します。

＊ジアゾ機対応相談に対する組合対応の件

組合員様に対してジアゾ機の回収等の相談時は複写ニュースＮｏ.253 号に掲載済みの様にリコージャパン様の意向をご紹介し、その後は各担当者と打ち合わせをお願いすることとします。

２．協議事項（各担当理事）

２－　１　．平成 27 年度事業報告及び計画案について

＊貸借対照表より、資産の部　流動資産は現金が昨年末より 100 万円減少しています。売掛金においては昨年度末は消費税増税に伴い年度末購入が大幅に増加しました。しかし今年度は通常通りの為減少しています。また、商品買い控えの為商品在庫が減少しています。固定資産は変更ありません。負債の部では昨年度末売上増加に伴い仕入額も増加しましたが、今年度は通常通りの為仕入額も減少しています。

純資産の部は今年度４社脱退に付き、出資金が減少しています。損益計算書より、事業収益の部、購買事業収入は売り上げが減少したので減少しました。教育事業収入は今年度はＰＯＤ本受託販売およびセミナー収入が増加した為増加しています。組合賦課金は組合員減少につき減少しています。事業費用の部では、購買事業費において仕入が減少したので減少しています。年度末に仕入額を抑えた為期末商品棚卸高が減少しています。一般管理の部では職員給与関係が年度途中３人態勢の為増加しています。印刷費交際接待費については活動が活発化したので費用増加しています。理事員会費においては有馬での理事会費用が発生し、複写連大会費では東海大会の補助金分支出が発生しています。事業外収益の部では組合員減少による奨励金が減少しました。以上のような結果より、当期純損失額 885,499 円となりました。剰余金処分については例年通り教育情報費用を積み立てます。又、次回日本複写産業協同組合連合会近畿大会では複写産業協同組合がホスト役ですので、大会費を今期及び来期にて積立てたいと思います。従って差引次期繰越剰余金は　10,309,407 円となります。これを次回４月２２日監事に監査して頂きます。

＊収支予算案について決算数値が固まりましたので平成 27 度予算を変更したいと思います。収入の部　事業収入の部決算数値より各々数値を再計算しました。賦課金収入・事業外収入も組合員脱退等を鑑み再計算しています。その結果収入予算合計 29,539,739 円となります。

支出の部　事業費についても決算数値より各々数値を再計算しました。一般管理費においても決算数値により印刷費、交際接待費を変更しています。旅費交通費においては組織拡大活動費として 30 万円計上しました。従って支出予算合計　29,539,739 円となります。差引 194,800 円の黒字を見込み予備費へ計上しました。

＊総会後懇親会のメニューについて和洋折衷の提案が有り、その旨依頼しました。そこでラグナヴェールよりメニューの提案が有りました。内容はメニュー名だけではわからないので試食会を開きます。参加者数の半数分を和洋折衷でもう半数分を従来のフレンチメニューで提案頂くこととし決定します。日程の第一候補日は５月２５日（月）第２候補日は５月１５日（金）ラグナヴェールに予定を確認して頂き、次回理事会にて日程をご連絡します。

２－　２　．平成 27 年度体制について

・４年間楠本理事長の功績において皆感謝しています。とても楠本理事長の様には今後できないと思います。役員全員でもって次期理事長をバックアップしていきたいと思います。次の世代をどのように育てるかが大事です。次期理事長は次の世代を引っ張っていってほしい。次の世代の人に理事になってもらいたい。若いころからお手伝いしてきたし、続けてほしい。次世代の価値創造に向けて、勉強会・懇親会をやっていってほしい。

共同購買もぜひ他社で購入しているものを組合で購入できるように提案して、ぜひ組合から購入してもらいたい。皆さん自分たちが主人公ですからよく考えて下さい。次の方々はそれを見習ってやってくれると思います。

・次年度役員組閣においては次期理事長等にゆだねることとします。

２－　３　．複写連事務局（案）について

・関東複写センターが脱退し、日本複写産業協同組合連合会は財政が厳しい状況です。昨年ＰＯＤ本を作成した事も原因ですが赤字です。各協同組合から賦課金を出しているがそのほとんどが事務局維持費でなくなります。今後事業の出来るお金を作るためどのようにするか 5/13 の複写連理事会にて決議されます。

２－　４　．平成 27 年度青写真等単価契約見積もりの件
4/10 に水道企業団に対する青写真等単価を決定したのでその単価でも見積りを作成し、提出する事を満場一致で承認されました。

２－　５　．賛助会員入会方法の件

賛助会員規約において１社で数口加入についての規約が無い為理事会にて決議する事になった。今回キヤノンマーケティングジャパン様が２口加入を申し出て下さっている事を満場一致で承認した。

３．3 月度会計報告

2-1 決議にて承認済

平成 27 年 4 月 22 日第 568 回理事会を開催しました。

1.報告事項（各担当理事）

１－　１　．第 567 回理事会議事録の報告

承認した旨報告されました。

１－　２　．事務局より報告

・第 52 期決算監査報告

本日、浅見・田畑監事、小川会計事務所より、小川・森田先生立会いの下会計監査を行いました。現預金及び固定資産等財産確認及び貸借・損益計算書内容を確認頂きましたところ、間違いなく処理されている旨ご承認頂きました。尚、「事業外収益の雑収入についての確保が大事ですね」とご意見頂き、今後ともご支援頂ける様努めて参る旨説明いたしました。

２．協議事項（各担当理事）

２－　１　．総会・懇親会について（次第・配布先）

＊5 月 11 日に組合員、賛助会員向け案内状を発送します。

＊組合員向け案内状下から 9 行目誤字　誤字算⇒ご持参に訂正します。

＊組合員・賛助会員出席者 1 名は無料 2 名から 1 名につき 10,000 円当日徴収します。

＊同封する議案書について、決算数値が固まりましたので前回ご承認頂いた資料に追記した旨説明しました。頁下の規定項目と頁番号が隣り合っていて紛らわしいので改行する旨変更を必要とするが、その他は承認を頂きました。

＊総会次第等については次回理事会時協議します。

３．その他　・5 月 25 日試食会出欠確認の件及び費用の件

本日欠席で出欠未連絡者を除き、本日現在８名参加予定です。費用については試食会の為減額を依頼します。

・7 月 24～25 日役員研修会の出欠確認の件

27 年度新役員については未定の為後日追加することにし、現三役・理事の出席状況は、役員研修会には福味氏欠席他全員出席予定。懇親会には全員出席予定。相談役は未定。

・リコージャパンより新行事予定の共有をお願いします。

8 月 4 日リコー創青会セミナー　11 月 13 日リコー創青会総会

・日本ＨＰ新機種について　アメリカＨＰのホームページに掲載されています。

海外サイト

http://www8.hp.com/us/en/commercial-printers/pagewide-printers/overview.html　5000、4500,4000 にはスキャナ付モデル（MFP）があります。３シリーズ１５機種の発表です。他に Press 向け

http://www8.hp.com/us/en/hp-news/press-kit.html?id=1935660#.VTRfE_C9szI　この中に、PageWide XL Blueprinter という機種があります。モノクロ＋青焼き風専用機「HP PageWide XL8000 Blueprinter （XL5000 XL4000）」

http://www.hp.com/hpinfo/newsroom/press_kits/2015/PageWideXL2015/8000Blueprinter.pdf

このシリーズでは XL8000 が最上位機種。ワイドﾌｫｰﾏｯﾄ　顔料インクのインクジェットポストジアゾ機種となるかもしれません。Ａ0 18 枚/分　Ａ1　30 枚/分　　ﾄﾚﾍﾟ Ａ0　6 枚/分　黒 2 色　ブルー1 色線画用。従来通りならランニングコストはインク代年間保守料のみ（非カウンター方式）で安価。ブルーインクは仕上がり青焼き風。従って高速の上、モノクロの場合ジアゾ並み価格になりえ、現在の PPC 価格崩壊が危ぶまれる。本体機種は未公開。海外サイトの翻訳では、９月に最初のリリースで 2016 年１月までに順次リリースのようです。他にフルカラーの最上位機種が有ります。

お願い:
本紙は組合員様に組合活動を出来るだけ詳しくお知らせし、よりご理解をしていただく目的でお届けしています。お手すきのお時間にご回覧頂き、是非ともお読みください。

発行:近畿複写産業協同組合
〒541-0043
大阪市中央区高麗橋１丁目 5-6
TEL06-6201-4766
FAX06-6201-4768
発行責任:楠本雅一
監修責任:桑田靱比古
編集制作:小野恵美子
問い合わせ:info@kinkifukusha.sakura.ne.jp

編集後記

東日本大震災から４年経ったある日、辛坊治郎さんの「現地レポート」を観ての一言。
それは辛坊さんと５～６０歳の女性との会話でした。その女性は地震が発生した時は、
末期癌の治療のため、海辺（場所は忘れました）にある病院に入院をしていました。
津波発生のアナウンスを聞くや否や我を忘れ、無我夢中で高台に逃げたそうです。
その後暫くして治療を再開すると、何と癌細胞が減っており、今では仮設店舗で仕事が
出来るまでになったそうです。その時、私の頭を過ったのは、私が小学生の頃でした。
当時私の実家は、マッチの製造を生業にしていました。ある時工場から出火し、結果工場は
全焼でした。出火以前から親父は、広範囲に及ぶ皮膚の炎症で悩まされていましたが、
この出火を境に見る見る間に治癒したことを思い出しました。人間とてつもなく大きな
環境の変化を受けると、跳ね返す力が生まれるのでしょうか。
きっと「火事場のクソヂカラ」って本当なのですね。（記・桑田）

組合事務局の健康保険は、関西文紙情報産業健康保険組合に加入しています。
そこがスポーツクラブ「ルネサンス」というところと提携し、
割引価格で利用できるようになりましたので早速会員になってきました。
ヨガや水泳、露天風呂を利用し、健康維持に努めたいと思います。
寒い時期にまとった脂肪布団を早く脱ぎたい！（記 小野）

近畿複写産業協同組合